

# 全史料協第 43 回全国（神奈川相模原）大会参加者アンケート

平成 30 年 2 月

全史料協大会・研修委員会事務局

## 大会テーマ（「公文書館法 30 年—今、問われる公文書管理—」）について

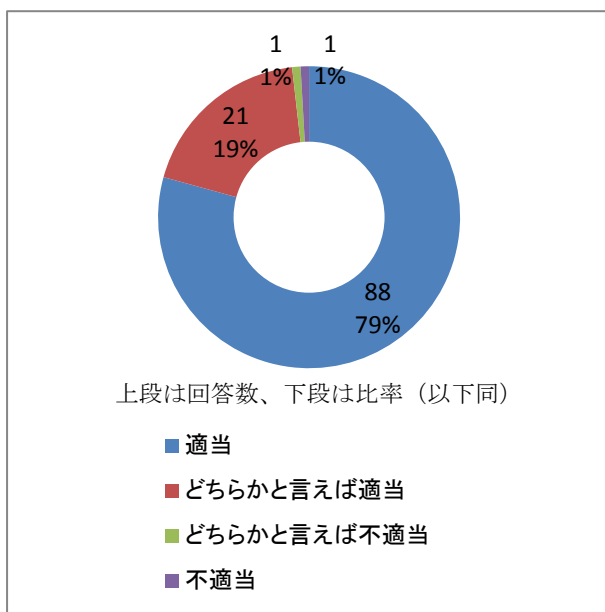


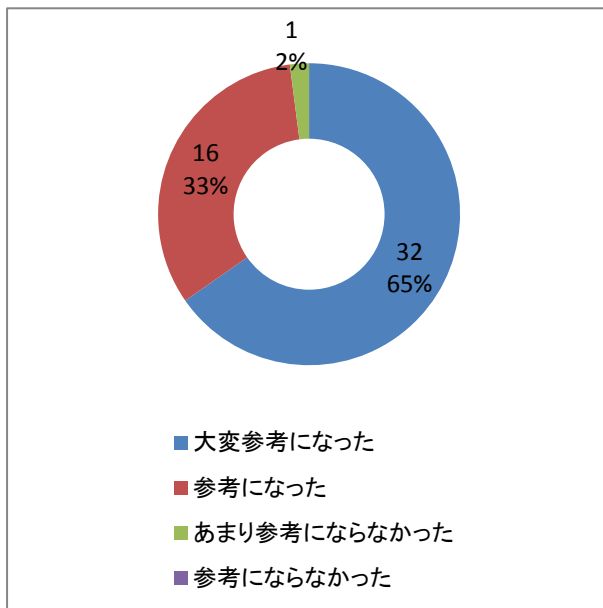
図 1 N=88

社会的にタイムリーなテーマであると思った。／公文書館法 30 年にとってもよいテーマであった。／わかり易い。（市民の参画が望まれるところです）／テーマと内容がマッチしていました。／永久に議論されるテーマだと思います。／管理法から 6 年、館法を問うというのは大変有意義であると思う。／初めての参加でしたが多くの自治体が同様の課題を抱えていることを知り、先進事例の大変貴重な体験談を聴けて大変参考になりました。／公文書館法 30 年、行政アーカイブズと民間アーカイブズの両方に目を向けた周年テーマでは、なかったように思う。／素晴らしい大会でした。／【別

紙】質問に出せなかったのでアンケートの別紙として出します（感想です）。公文書館は図書館や博物館に比して、一般の人に「利用しにくい」ところがあると思います。もう少し「利用のしかた」を普及するか、「残すこと」の意義を一般の人に伝えていく必要があるように思っています。「記録を残す」主体者として、一般の方が関わってくれる関わることができるような手立てがより必要と思いました。そう考えると公文書館法は「残すシステム」が法律となったという意味で、意義が深いと思います。／節目の年にふさわしい大会になっていたと思います。アーキビストの“力”が成果を上げていると思います。声を大にして役割の大切さを発言して行きたいと思います。／アーキビストの職務について議論になったが学芸員の職務との差はどうなるのか／公文書管理の「何」が問われていたのか、公文書管理と公文書館法の関係がよくわからない。／もう少し根本的な話が聞きたかった。民主主義との関係性をもっと論じるべきでは？／公文書管理の側面を次回にでもお願いします。／タイミングがよく、公文書のあり方についても問題になっている時期でもある／参加者同士の話し合いの時間・場所を設けて下さい。／都道府県や市町村とその状況はちがいがながら、みなさんの熱い思いや問題意識を肌で感じる事ができてよかったです。／公文書館法など現状に至るまでの過程を振り返って、改めて今後公文書館のあるべき立場を考える良い機会となった。／運用してみてどうだったか、振り返る機会はどうな組織で

も必要です。／この法をどう活かすか、どのように改正すべきか、そのために全史料協がどうアクションを起こすか、もっと具体的なビジョンがみえるとよかった。／初めて参加し、勉強させていただきました。／今後、公文書館法改定に向けた議論が必要（アーキビスト配置）と感じた。／公文書館法制定時の話がもっとほしかった。／時節のテーマ、緊喫のテーマと思います。／コメントーターの方の熱意が伝わってくるよいテーマだったと思います。大会テーマ研究会が座談会という形で良かった。／正にタイムリーなテーマがありました。／発表内容がみんな素晴らしかった。自分たちの活動の参考になることがたくさん聞けました。ありがとうございました。

### 研修会 A（視察）



工夫のあとがよくわかりました。／満員のため〔不参加〕／希望者全員が参加できることが望ましい。遠方から初めて訪れるのだから。／建物の再利用という観点から大変参考になりました。／残念、閉め切られた！／ぜいたくな閲覧室でした。／閲覧室だけでなく書庫の中も見学させていただき、構造や温湿度の変化など、現状をくわしく解説していただき、大変参考になりました。／他館を見ることは、いろいろ気付かされます。／博物館のバックヤードを見学できたらよかったです。／満席により参加できず。／正職員なし、低予算の中で館運営をされている

図 2 N=49 参加 50・不参加 63

様子、市町村公文書館の事例として大へん参考になりました。／旧議場を利用したコンパクトな公文書館で市町村が新たに公文書館を作る際に参考になると思います。／限られた条件下で、最大限の館運営をされている事が良く伝わってきた。／短い期間で目録整理など熱心にすすめられており、相模原市公文書館の取り組みは大変参考になりました。／実際に見学でき、事情が具体的に分かったから。／大満足→実に素晴しかった（A 班です）博物館公文書法／博物館と公文書館の双方を見られるコースが 2 つともであってほしかった。／定員いっぱいでした。／全史料協の視察であるのだから、バックヤードの見学を充実して欲しい（特に博物館の書庫・薫蒸室 etc.）／書庫内の簿冊をもう少し、じっくり見せてほしかった。／予算も人手も限られた中でとても工夫をしておられる姿に尊敬しました。

### 研修会B（寒川町）

講師所属館の紹介としてはよくわかるが、何がアーカイブズ入門なのかわからなかった。／他館の活動事例を知ることができた。／公文書館の運用の実体と手法が大変参考になりました。／地域連携は行政、教育の様々な分野で現在行われているが、それらも参考にして欲しかった。／市町村アーカイブズの理想のあり方を見た想いです。／寒川が文書館建設に向けた流れを作っていた過程を知り、最初の取組み（施設見学）が大事だなどと思うと同時に一朝一夕では難しいと実感した。／寒川文書館の学校連携の

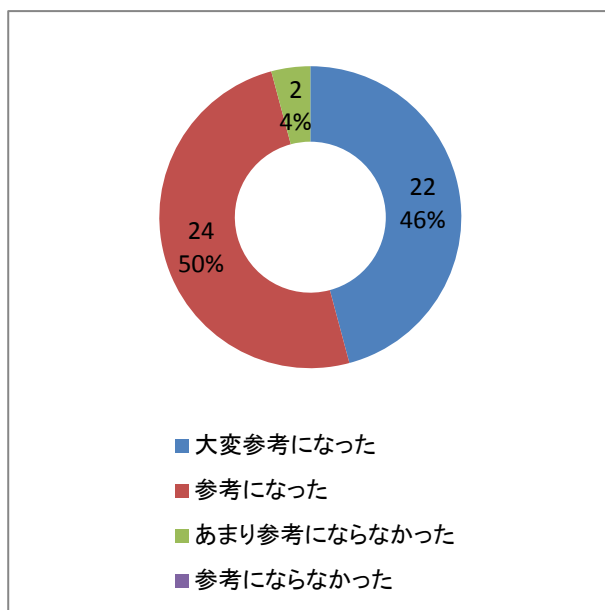


図 3 N=51

中で低学年（2・3年生）への写真史料を使用した普及事例がとても興味深かった。／市町村が公文書館を整備していくための論点を的確にご教示いただきありがとうございました。／公文書館未設置の市町村に是非、聞いてもらいたい内容だった。／自館も図書館との融合施設を検討しており、資料のすみわけ方など大変興味深く拝聴しました。／実務的なお話しで勉強になりました。

### 研修会C（尼崎市）

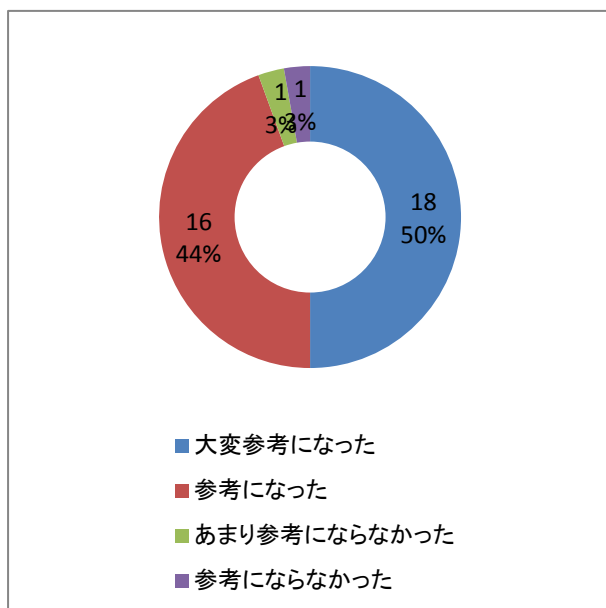
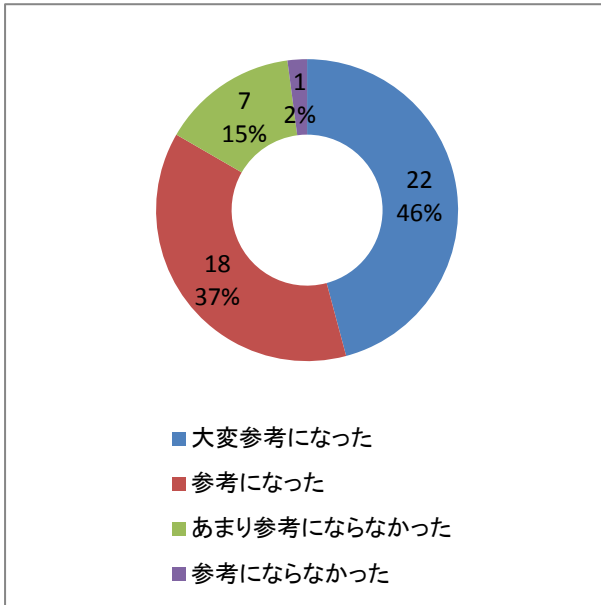


図 4 N=38

一人でネットワークでDBを構築するのは、ご苦勞の多いことだと思いますが、スキルの継承はどうなるのでしょうか。PCスキルが低くとも取扱いが安易なDAを展開するにはどうすれば良いか。／職員のスキルに左右されるところが大きいと感じます。／ボランティアとの連携の強化、多様な作業メニュー、継続的な取り組みなど事例についても話がいただけたので、大変参考になりました。／NAPSについてのシステム情報をもっとオープンにして、試行する機関を募集してひろげるなど全史料協が主導して普及を検討してほしい。／西村さんの仕事はすごいと思うが、バックアップ的な問題に課題が残るような気がした。／市民協働に

よる館運営のあり方について、今後参考にしていきたい内容でした。／今後のボランティア活用につなげたい。／“協働”とどこまで言えるのか、しかし尼崎の事例は参考になった。／システム構築の過程が分かってよかった。／組織体制的に不備になか、よくがんばっていらっしやる。

#### 研修会D（豊田市）

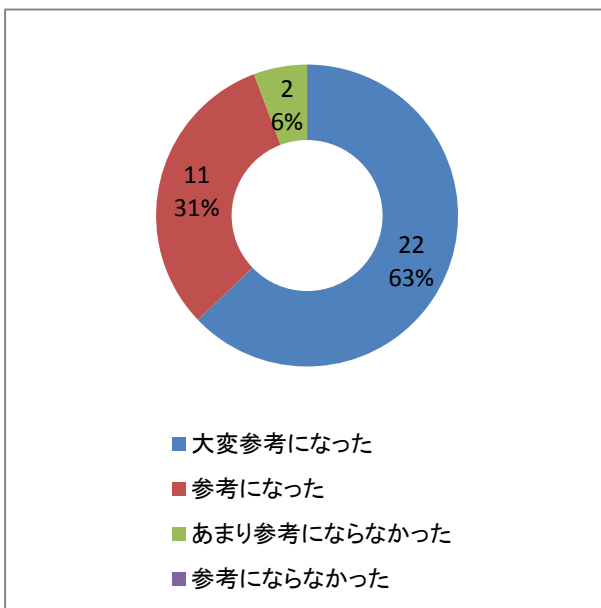


制度の構築方法がユニークで興味深かった。／本市の運用にとっても参考になる手法をとられているなと感じました。／今後も詳細にうかがいたいです。現用・非現用を一括して管理する方法が非常に勉強になりました。／公文書館を置かない形ということで、研究会の報告にして議論してもよかったかもしれません。／市町村にとっての現実な取り組みの参考になると思う。／情報公開制度ののってという感じではない。／色々な形の公文書管理があるのだと勉強になりました。／申し訳ないが運用の話は、

図 5 N=51

規程をよく読めばわかるので、現在に至った議論過程を知りたかった。／質問がいくつか出されたが、それで実態がわかった。／少しわかりづらい。／市町村との連携をする上でヒントになりました。

#### 研修会E（大磯町）



市民の皆さんに支持される、愛される公文書館、市民との活動等々、考えさせられました。／他館の活動事例を知ることができた。／ボランティア団体の育成、次のステップは研修・表彰制度の導入による組織化ではないか。／企画展示のあり方を考える一助になりました。／地域史料に愛着を持ってもらうために、やはりかなりの覚悟を持って、対応しなければならぬが伝わってきた。／具体的な事例報告で大變勉強になりました。ありがとうございました。／市民の方の熱意

図 6 N=37

を感じられた。／「C」と同様、ボランティアと館運営との関わりについて、大いに参考にしたいです。／すばらしい取組に心から敬意を表します。当館の古文書活用の参考させていただきたいと思います。／事例の紹介として興味深かった。／必ずしもボランティア運営がうまくいくとは限らないと思うが、学芸員の方の努力、人の見極めがすばらしいと思えました。博物館としての古文書へのアプローチ、勉強になりました。／今後のボランティアのあり方につなげたい。／地域ボランティアとの共同作業の具体的な経過がわかってよかった。／歴史資料（古文書）の普及、市民を巻き込んでもっとがんばってほしいです。／専門職員の重要性、ボランティアの可能性など再確認いたしました。

## 総会について

### 参加 80・不参加 29

質問者が発表のない情報を決定事項のように発言され、違和感をおぼえた。／会長さんのお気持ちがよくわかりました。／館予算は少なく、2ヶ所への出張は無理です!!何故、次年度の総会と大会を分けたのでしょうか、6月に両方行けば良いのに。／初めての参加だったので、どのように行っているのか、よくわかった。／地方部会の意義が薄い気がしてきました。／4月に新予算が執行される（大会という大きな執行も含む）のは、問題かと思いますが、総会を別に開催して参加者が少なくなるのも問題ではいろいろな日程をいろいろ見直す必要があるのでは？／特に問題ありませんでした。（ただ総会はともかくセレモニーにはもっと多くの方に参加してもらいたい）／予算の組み方について変化のある箇所の説明が欲しい。／会長は何年か先まで順番で決められないのか。／来年度は総会と大会が別日程だが、小さい自治体で2回出張はできない。どちらかといえば大会の方が研修でき交流も図れるため優先されてしまう。／議論が低調であったのは残念。／大会との分離はどちらかといえば賛成でしょうか。遠方から参加していると、2時間総会というのは果たしていかなものかと思います。学習にまわしてほしい。／意見：29年度の予算執行（各委員会が目一杯予算を消化すると、30年度は大変な事になるのでは）／参加者が少ないことへの対策／定兼会長のお話が良かった。／年に2度、2日間にわたる行事について、予算の厳しい折、出席は難しいのでは？／大変、スムーズな進行だったと思います。次回の総会と全国大会のとりくみが楽しみです。

## 調査・研究委員会報告

少量の文書復旧事例があったが、歴史的なものを含めて大量の場合の処置は？  
／研究報告書作成後の活用の仕方も紹介すべき、その上に新たな展開がある。  
／津久見市の事例（常用文書の扱い）に接することができてよかったです。  
／災害に対する心かまえを作る必要があることが、個人的な課題です。  
／津久見市の水害について、庁舎の浸水はもともと想定されていたのか、いなかったのか気になります。基本的なことですが文書の保管場所のチェックも必要かと。復旧も大事ですが、その前に災害を減らす工夫も大事。  
／高村さんがすごい。  
／現用文

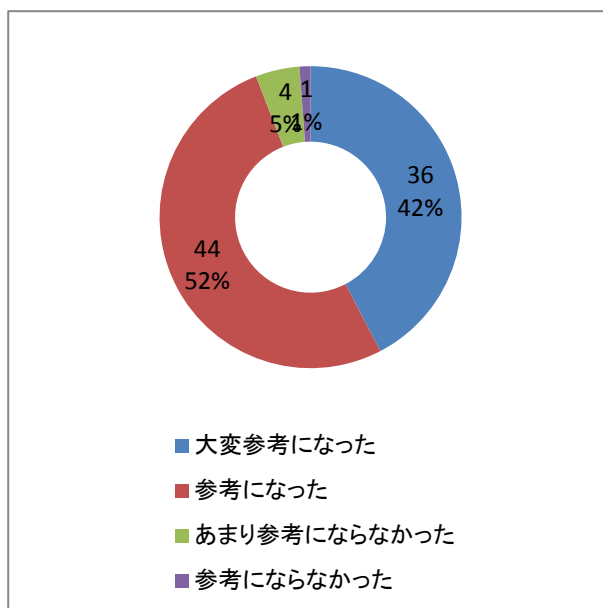


図 7 N=94

書の被災は、文化財であるなしにかかわらず、最優先でレスキューしなければならないにかかわらず、手当が行き届きにくいという、実態が勉強になった。高村さんの報告はパワポでなく口頭のみでちょっとつらかったです。  
／具体的なレジメのない話は理解があさくなるし、職場への還元がしにくい。箇条書でも構わないのでもう少し工夫してほしい、せつかくの報告がもったいない。  
／被災地での災害対応との関わり方を知ることができて良かった。改めて自身の周辺自治体での災害対応等の実施計画を確認しようと思います。  
／高村さんの報告、配付資料作って下さい。口頭だけでは話についていけないので、せめてパワポでキーワード見せて下さい。  
／被災地へのアンケート内容は精査されたい。  
／途中経過の案件で、口頭のみでのご報告部分はわかりにくかった。後程、HP等で確認しておきたいと思っている。  
／現用文書であるが、その対応が参考になった。  
／津久見の報告がよかった。  
／調度。研究委員会のすばらしい対応（津久見市）が良かった。  
／災害時のレスキューの内容が詳しくお話しいただけて良かった。

## 大会テーマ研究会（第1部）

相模原のスチーブ・ジョブズ！ステキでした！鳥取の公文書館の仕事 Q+A 入手したい／熱のこもった発表・報告でよかったです。  
／飯田館長の説明がわかり易く、すばらしかった。  
／地方の例等がわかりよかったです。  
／基本事項の確認になった。  
／相模原市の予算・人員の限られた中での低コスト最大の効果は大変参考になりました。  
／報告(1)で相模原市さんのお話を具体的にもっと入れてもらいたかった。  
／特に鳥取県報告は、全史料協だからこそこの報告。  
／鳥取県の取り組みは刺激になりました。組織を越えて市町村との連携を作っていく。見ならうべきあり方だと思いました。  
／特に鳥取の、県を中心としたアーカイブ体



制の構築が興味深かったです。／相模原市飯田氏にお話しを頂き、「わかっているつもり」であった公文書館法等について、改めて確認することができました。鳥取県の田中氏の県・市町村・県民の取り組み、責務についてのお話しが大変勉強になりました。／もう少し質疑の時間がほしかった。／鳥取県立の市町村へのリーダーシップ体制はととてもすばらしいと思いました。／トップダウンにしる、ボトムアップにしる専門職にとって、歴史的公文書の重要性を共有する存在（上司・首長等）があるのは心強いし、大事なことだと思う。／報告者お二人の奮闘

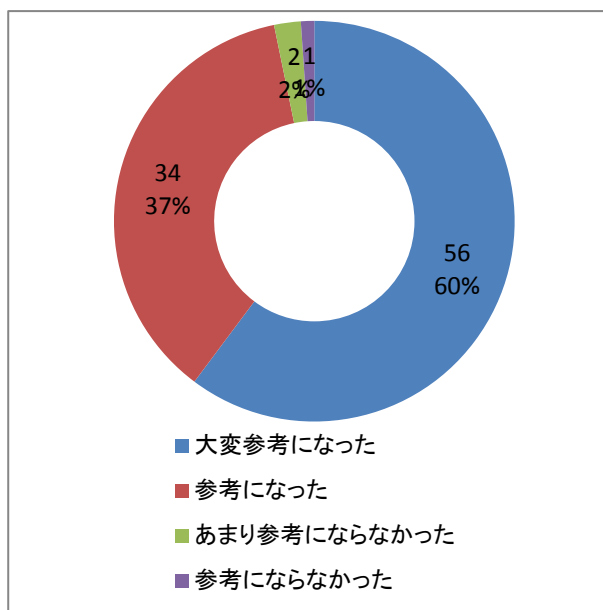


図 8 N=105

ぶりが目に見えました。楽しく拝聴しました。／鳥取県の取り組みは非常に先進的で参考にする必要を感じました。県と市町村の連携を資料保存の面でどう進めていけば良いか、もう少し議論が必要と思いました。／打合せ不足では、相模原市実践の話を中心に聞きたかった、法律の説明はいらない。／鳥取県の取組みは大変参考になった。／特に鳥取県の方は団体レベルが一緒のため、普段の業務に対する自らの反省も含め参考になりました。文書館が中心的役割を持つという意識を教えてくださいました。／鳥取の取り組みはすごい一言に尽きる。／鳥取の事例がすばらしい。／鳥取兼の報告、大変参考になりました（他県としては、うらやましい限りです）／田中氏・飯田氏のご苦労と 생각이伝わってきました。

## 大会テーマ研究会第2部

時間配分が拙い。各スピーチはレジユメを出しておいたほうが議論円滑化をはかれるだろう。／フロア質問、取り上げて頂き、感謝します。コメンテーター4名、Best でした。（特に水野さん、新井さん）／様々な立場での発言、きり口があって参考になった／早川さんの法的な視点からの考察に大変興味を持ちました。法にしばられる自治体職員として考えさせられました。色々な立場から貴重な意見が聞けて良かったです。／館法を

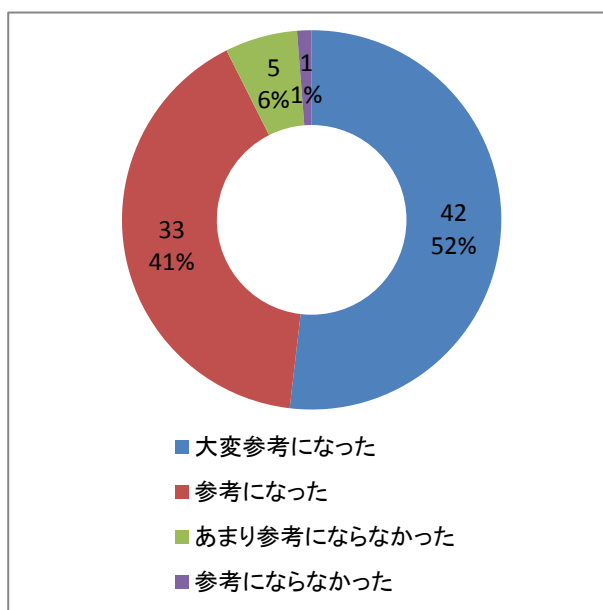


図 9 N=97

作るまでの熱意を知ることが出来、またこれからどうすべきか、法整備・専門職、様々な問題について考える機会となり有意義であった。／質問の割愛はいかがなものか？フロア一発言の機会をせばめ、一方的な討論にしたのは問題である。せめて会報に載せて記録すべき。／附則を取れば良いという単純なものではないが、それが当面の目標かと思いました。／法律の専門家の話が入ることで、視点が変わって参考になりました。／公文書館法の重要性を改めて実感しました。／管理法と公文書館法との違いを理解されているのか。今回は公文書館法 30 年でないのか。行政インフラと公文書館法という歴史資料は別であると思う、再考されたい。公文書館法制定に関わった方々へのリスペクトを忘れてはならないと考える。／コスト負担をしている一般市民にどのように意義を伝えるのか？その伝え方が今まで十分でなかったのかもしれないと思いました。図書館や博物館に比して、そのアピールをしにくいこともあります工夫していかなければならないのでは。／回顧的な話と新しい話がいまいちかみあっていないと思った。もう少し新旧バトルがあっても良かった。／コメンテーターも聞き手も良くからまって、これからの課題を浮上させてくれ、とても良かった。特に民間アーカイブズの取り組みは興味深かった。組織の中ではレファレンスに力を入れると効果が上がるように思います。／早川さんの話はストンと落ちます。ただ「公文書館の必要性」を理念ではなく、具体性をもって、市民に伝えるのは容易なことではないと感じた。松崎さんにお伝えしたい。「企業」と「公共団体」は、負う仕事少し異なると思います。／松崎さんの意見に共感します。歴史資料の保存庫としての公文書館イメージを脱却しないと先がないと思います。／とてもいいテーマで内容の充実した研究会であったと思う。公文書のアーカイブズへの流れ、現在はあるイミ大きな変化の時期かも知れないが、更にアーカイブズが有する理念を掘り下げ、考える必要があると思う。専門職の職員も考えること大事と思った。／特に専門職員の件に興味深かった。地域史編さん部署もしかり、専門的職業が非正規の人々でどうにか回っている状況を法の整備などをしながらも、早く解決してほしいと思います。／「アーカイブ」や「公文書」というものに対する意識が世代によってずいぶん異なるのだということがよくわかり、ためになった。／対立する意見もあり参考になりました。／「アーカイブズ」に対する国民理解（松崎氏のような理解ではダメだと思う（地域アーカイブズへの「排除」の論理）も進めるためには、私は「説明責任」だけを強調するのはかえってマイナスに作用すると思います。「アーカイブズ」はそんな狭い意味の概念ではないと思いますし、地域に残る記録を守っていくとする市民の思いを我々はしっかり受け取めなければ、市民の理解も得られないのではないのでしょうか。／よく勉強したいので、報告・発言の詳細に記録を作ってください。会報・会誌に掲載されるのを楽しみにしています。／公文書館法については、専門職、設置に対する補助の他、利用者の権利や著作権などとの関係など、様々な課題があると思う。実務上、困っている職員は多いと思う。／テーマがしぼりきれなかった。／公文書館法成立の過程等、参考になりました。地方における公文書の利用が、職員第一というお話しは現場としては違うのかなと感じていますが、それは地域性というものもあるのかもしれない



せん。／公文書館法の存在意義があるのか考えさせられることである。／申し訳ないが、議論ができていなかった。折角コメンテーターが 4 人登壇されているのに、積極的な。／法律の意味問題がよくわかった。／現場で働きたい専門的能力を持つ人々への希望を含め、大変重要なテーマと思います。／公文書館の専門職問題について改めて考えさせられた。図法と博物館と公文書館法の違いにはびっくりした。／どういう方針で会を進めるのか話し合いがなされた、上でのものとはとても思えない。それぞれ思いを言いつばなしでよいのですか？／概念話を言う場は必要ですが、現状の状況を取り上げるところもあれば、もう少しよくなるかと考えます。→早川さんが一番現実に聞こえました。／埼玉のアライさんがクールで良かった。早川先生のテーマへのアプローチは大変参考になりました。これまでの経緯と全史料協のあゆみが良くわかりました。改めて振り返ることの大切を知りました。今後の公文書館のあり方を考える上でもとても良かった。

#### 出版物展示・協賛企業展示・ポスターセッション

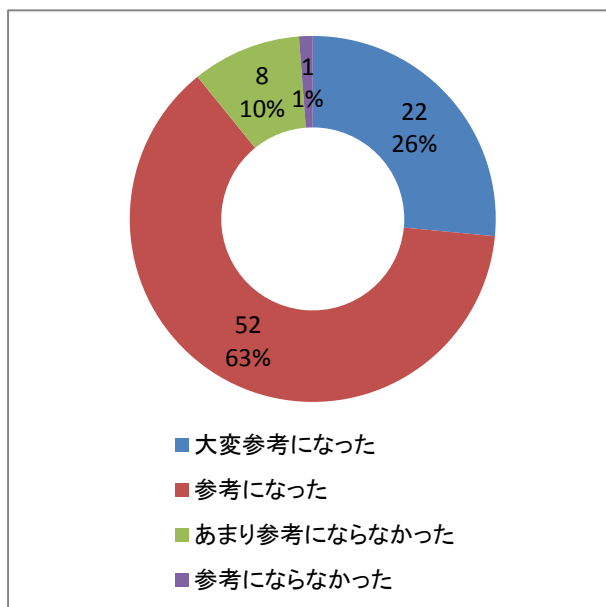


図 10 N=83 入場 95・入場せず 16

新しい情報にふれられる。／今年は展示が、同一会場で良かった。来年も同じ会場をお願いします。／企業パンフレットが大変参考になりました。／寒川町公文書館施設見学の申込ができ、また各地方公共団体のリーフレットの情報収集ができ参考になりました。／参加が少ないよう感じました。／少なくなった、何か考えないと…。／階が分かれていると見に行きづらいと少し思いました。／広島県立文書館のポスター発表が良かったです。／もう少し多くの機関に出展参加して欲しいと思いました。ポスターセッションの時間をもう少し十分に取って

いただきたいです。今回はポスター展示は 8 階になったため、特に 2 日目は導線の面でやや問題だったように思います。／機関会員がもっと積極的にポスター発表を行うように努力すべきだと思います。／各文書館における展示をもう少し充実できないか。館員は研修にはりつけざるを得ないのだから。例えば委員会預かり、依託で各館の刊行物を販売する等。会計的な問題はクリアにする必要はあると思うが。各地方の刊行物交流の良い機会なのではなかろうか。／新商品のサンプルとか実際に触れるので、来年以降も楽しみにしています。／企業と会員のポスターセッション会場が分かれているのが残念。ポスターセッション参加者が少なすぎるのでちょっと…

## 運営について

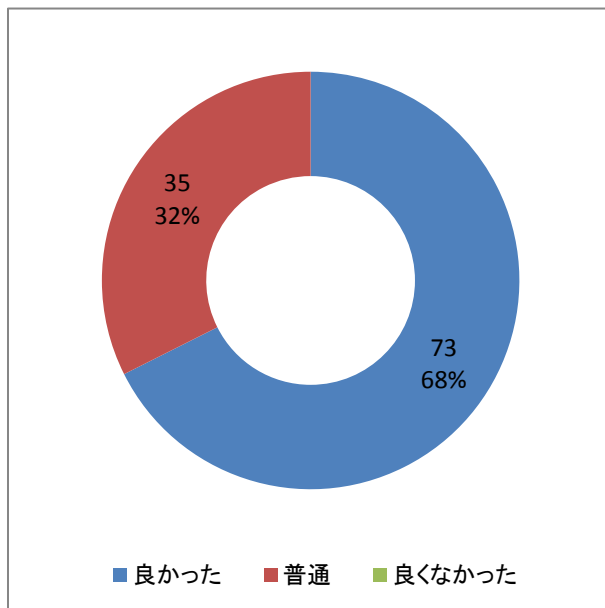


図 121 全体の感想 N=108

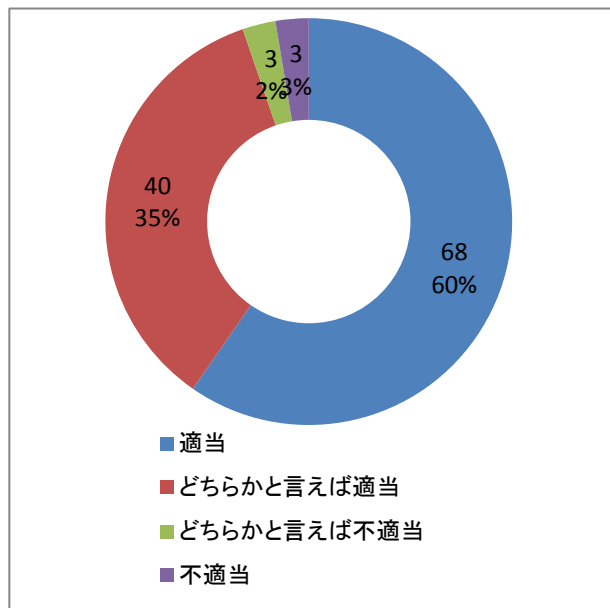


図 12 日程について N=114

幕間の時間、座ってしゃべる場所がほしいと思った。会場暗くてメモとりづらい、PPT 優先だけでない配慮をたのみます。／図書館総合展・JLIS と日程が重なってしまっている。／事務局を整理し、機能的な運営ができ、団体の発言力の強化につとめてもらいたい／主催者側のご苦勞をお察しします。／聴きたい選択制の研修と総会討論、共に生の声で参考になりました。／お世話になりました。／相模原市をはじめ県内機関の皆様、大会研修委員の皆様、お疲れ様でした。ただ、神奈川県公文書館が、もっと前に出て活動してもよかったですと思います。／セレモニーやあいさつが長い／ご担当の方々のご尽力には頭が下がります。お疲れ様でした。／ホールについては仕方ないが、多目的室等を使用する際、机や下敷の用意をお願いしたい・／土・日がよい／研究会では会場も交えて質疑応答の時間を長く取ってほしい。／1日目、お昼休みが45分で昼食と受付は難しかったです。もっとよゆうを…／休み時間は2時間位欲しい。何の為の法律なのか？何の為の専門家育成なのか？目的と手段が解らなくなっているのは自分だけかも？公文書館に関わる法律や専門職のための協議？／今年はJ-Lis フェアと同日のため1日でもずらした方が市町村参加率がアップする。／日程は図書館総合展など他団体の行事とずらして相互に参加者が増えるような工夫ができないものか／今回は配布資料に参加者名簿が入っていなかったようですが、交流会等で懇親をはかる上で名簿がないとやや支障があると感じます。名簿はやはり必要ではないでしょうか。／相模原市の皆さま、本当にありがとうございました。パワーポイント使用の際、会場が暗くなると手元の資料が見えにくいので、配慮をお願いしたい。／一般的に各学会は土日に実施するものと思うが、平日に実施することで、かえって参加者が限られていないか。検証を求めたい。(研修の選択について) 予めどちらに出るかを決定する

システムよりも、当日の自由判断でどちらを聞くかを定めるシステムにできないものか。  
 /若手の職員・研究者を中心とした組織みたいなものをつくっていただきたい。参加者は  
 45～60代が占めているが、20～30代を中心とした青年部みたいなものがあると交流が深め  
 やすい。/日程が毎年、図書館総合展とかぶっているのが残念です。それ以外は良い運営  
 でした。/良い大会になったと思います。大会研修委員会のみなさん、本当にお疲れ様で  
 した。※特に事務局

### 研修会で扱って欲しいテーマ

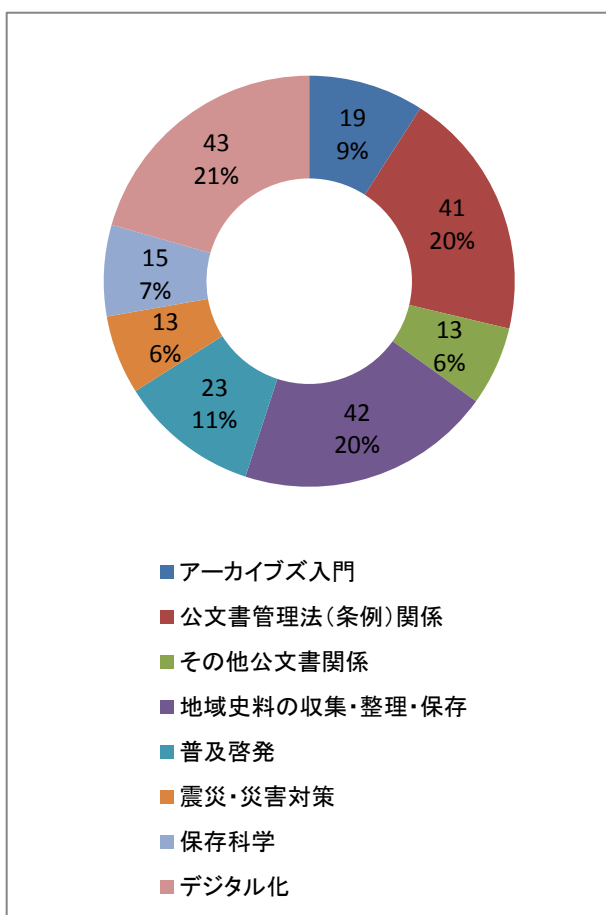


図 13 N=209 (複数回答可)

(1)アーカイブズ入門は、ケーススタディでなく原理・原則をわかり易く説明するものであってほしい。質疑時間をたっぷりとるべき。/館関係者だけでなく、周辺の方々(ボランティアや一般行政職員、市民、学生など)とのディスカッション、特に「公文書館への苦言や批判など」を聞きたい。/電子公文書の移管と管理について/時代にあわせて異なってくる分野もあると思うので。/職員への理解を促す良い方法があれば。歴史文書の保管を見直す(再選別する)場合の課題について。/医療・介護・民俗・さまざまな潜在的アーカイブズ需要に目を向けた研修を望む/電子文書公開/資料の保管スペース問題をどうやって打壊していくべきか.../過去、機関として設置されている施設・館の機能低下が危機的状況である。担当者でなく行政上層部・首長・議会への働きかけが出来る様な内容が望ましい。/電子文書の保存

(例えば) レーザプリンターによる印字の長期保存など、今のものを永く残すために今すべきことを考えること。/修ふく系の話が欲しい。/国民主権が根付いていない限り、資料保存の理解が得られることはないと思います。専門職の養成等にもかかわると思うのですが、歴史に興味がない一般の方にも国民主権、民主主義の根幹を支える知的資源というものを広めていく必要があると思います。/撰別評価/地域資料の収集整理保存について、毎年同じような内容である。〇〇文書の整理についてではなく、〇〇館における収集史料の整理保存の全体に関する事例を研修内容に入れてほしい。/公文書の整理法、データベ

ース作成について具体的な話を聞きたい。／専門職員の確保の問題も重要だと思いますし、同時に現状の職員体制と勤務量の問題を考えると、今大会で取り上げたボランティア活動の問題を取り上げて行く事も必要だと思います。／住民活動、自治会、公民館、NPO等の記録保存／電子文書の保存・公開ルールについて知りたい。／資料の収集・整理・保存がどの機関でも基本となることなので・／デジタル化の実際的问题／整理方法を具体的に提示していただければありがたいです。／3：情報公開法の施行でかえって公文書のかけこみ廃棄が行われて、逆に歴史資料を失った例も多くあると聞く。情報公開法の視点から公文書管理を扱って欲しい。9の1：4の地域史料と関係するが企業関係（ビジネス・アーカイブ）について全史料協はどうかかわるのかを扱って欲しい。一般社会人の大多数は民間で活動するのだから、企業文書も公文書と同じ位、重要なのではなかろうか。9の2：アーキビストの就職・就業問題。アーキビスト養成の必要は声高に叫んでいても「出口戦略」がなっていない。現在の現場は定着しない正職員が数年単位で異動するか、大多数の非常勤に支えられている。特に後者は生活も不安定になりがちで、非常勤職が自立した経済生活を授けるようにならなければ、結局は文書館・アーカイブ運動も先細る。要は不安定な立場に置かれている専門職員の職位向上、正職員化などアーキビストの就職問題について取り上げてもらいたい。／予算が削減される中での取り組み方（保存・管理等（デジタル化））／民間アーカイブズのことも取り上げてほしいけど参加者が少なそうです。／資料検索システムの導入について／情報公開

#### 大会テーマ研究会で扱って欲しいテーマ

文書・資料の保存制度と実務／保存している歴史資料・公文書の利用方法と制度化／時宜に合ったもの／デジタルアーカイブ／アーキビストとは何か？／アーキビストの専門性／各自治体の基礎的な取組状況、博物館との棲み分け、連携。／定期的に公文書管理について各自治体の取り組みを取り上げていただければ幸いです。／国の問題点の情報／行政刊行物を含めた歴史的公文書の整備や公開・保存等について／地域住民との接点づくり、その具体的方法、高校生ボランティアとの地域連携（聞き書き甲子園の成功例、すでにあり）／アーキビスト等の専門職と雇用側（行政・企業・会社・大学等）との望ましいマッチングについて／公文書館が地域資料を取り扱うことについて、論理構築する必要があるのではないのでしょうか？／類縁施設との差別化、協働について。（現在、財政的な問題もあって、合併・併合が企図されがちなので）／日本国内のアーカイブズにおける目録記述等の標準化。（あまり業界的に大きくないのに独自路線でいくよりもある程度、共通なプラットフォームによって整備する方が、インフラ面でもコストが削減できるのではないか。／公文書管理法（条例）関係／アーカイブズにおける著作権・肖像権について／県と市町村の連携、システムの作成／専門職問題→何をするのがアーキビストなのか。／国民主権！／“アーカイブズ”とは、理念的なものも掘り下げる。／アーカイブズ後進地区の事例等も扱って欲しい。／普及啓発：研究者だけでなく幅広い世代に利用、公文書館を理解してもらう

ために博物館でも図書館でもない公文書館としての取り組みとは、その事例、考え方。／電子データの取扱いがどうあるべきか。／資料の活用と活性化させる方法・事例があるといいですね。／専門職の養成について、国の動向・各機関の実情等／館の設立を促進するための具体的な方法論を、もっと議論して欲しいと思います。(首長のトップダウンでしか設立が難しい現状を何とかできないか…)／保存科学／評価選別。どんな手順でどんなリストを作って、何を参照して…難しいといいながら、何とか実践している公文書の選別についてなるべく多くの事例で聞きたい。／著作権・公開権などについて、行政刊行物や映像などの閲覧・複製・展示をする権利について、明確になっていない部分が多いと思うので、お願いしたい。※例えば図書館は文科省告示で、図書館未設置の市町村に対して設置・運営に関する指導・助言を行うとしている。古文書館設置にも欲しいところ／歴史史料の調査研究・普及啓発に係る地域・住民との連携／地域史料の収集・整理・保存について／機能普及のための実際的手立て／保存科学など／ゼロからアーカイブズを立ち上げていくための考え方／当市は、博物館が「公文書的機能」を持ち合わせているが、その収集は廃棄された文書の中から、ゴミをあさるように探しているが、この様は現況の市もあるのもう少し成功事例よりも、このような現場の状況を話す機会があればよい。／デジタルアーカイブズ。ボーンデジタル記録のアーカイビング

### 全史料協全国大会に望むこと

市町村自治体では、年2度の参加は難しいのではないのでしょうか?(少なくとも当市では無理です)やはりこれまで通り、総会全国大会は、同時開催でお願いしたい。(開催地は問いませんが…)／地方創生につながるアーカイブズ／会員を増加させるとともに、団体の発言力を強化して、日本のアーカイブズをひっぱり手になってほしい。／宣言に賛成。国民へのアピールを。／公文書に関わる者だけの大会のようで、たとえば首長があいさつをするとか、公文書館法が議員立法であれば議員等、来た人があっても良いかと思います。／総会と研修会は同じ日に実施を望みます。／基本法たる歴史資料保存利用法の制定促進運動／総会と大会と2回開催の継続を／懇親会の会費をもう少し安くしてほしい。／担当者のための会ではなく、行政担当者にも広く周知できる様な公報活動／やや、研修と報告の内容分類があいまいなので、研修→理論や知識を学ぶコマ、報告(研究会の)→事例を出し合って、ディスカッションする場所と区分して、内容を決めた方が良いかもしれません。／地域資料の取扱いについて考えるべき(現在の流れの中では取り上げにくいのでは?)／機関会員ですが会費が高いと思います。／全史料協組織の強化、国立公文書館の協議会への参加・役割分担／地方からの参加です。出来ない事が多いので出来なかった事例とその原因について考えて欲しい。／各自治体派遣費用の関係もあるかもしれませんが、全体的に参加者の平均年齢が高い気がしました。これからの公文書館や全史料協を引き継いでいく若い世代の参加も必要かと思いました。全国の公文書館関係の先輩方にお話しをきける全国大会は改めて自身の業務への大切さ、責務に気付くこと、考えることができる時間だ

と思うので、もっと若い世代にも参加して欲しい。／今回の松崎氏のように、行政以外からの意見をたくさん聞きたい。／参加名簿が 50 音順だったのか、受付用はそれでよいと思うが、参加者用へは所属別がよい。／コメンテーターのよりよい選定／アーカブズがない地域でも開催してほしい／本の販売して下さい。／総会については、全国館長会議などの際に、あわせて開催できないだろうか。大会と総会を分離した日程にすると、旅費が用意出来ないと思う。／毎年、このような大会を継続していただければ有難いです。／公文書館未設置の県知事宛に資料を送るなど働きかけをしていったらいいと思います。特に今大会の資料は是非見てもらいたいと思います。先進県との大きな差、市町村にもそのまま影響するため、格差の是正解決すべき課題だと思います。／予算（市の）が削減される中で機関会費が払えなくなる可能性や旅費の削減等でますます、大会等に参加することが難しくなるため／大阪府が退会したままというのはよくない、復活折衝を！／（自治体の寄り合い所帯でもありむずかしいかも知れませんが）今年の国での文書の取り扱いについて、会員はいきどおりを感じていると思いますので何か提言等をおこしてもよいのではないかと考えます。／全史料協がこれから何を指すのか、何のための会なのかを今、一度考えていく時期に来ていると思います。

#### 相模原大会への参加理由

公文書館設立に辺り詳しく情報を得るため

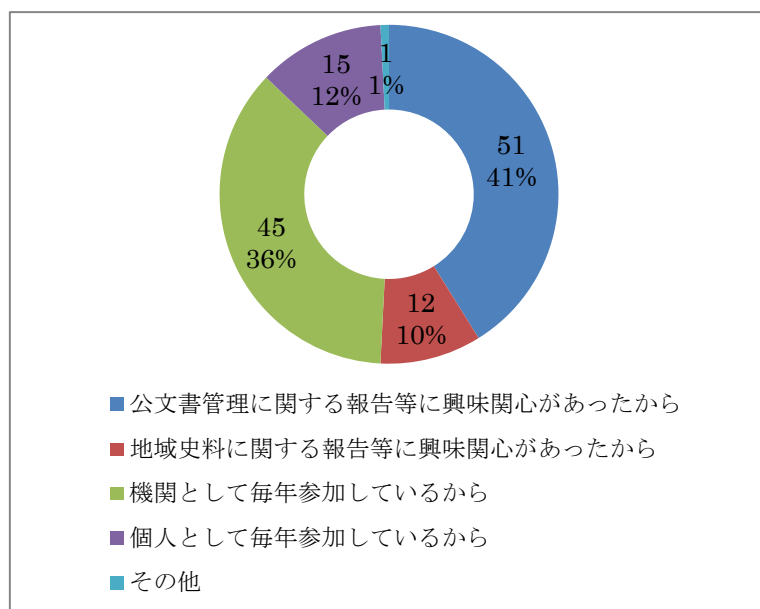


図 14 N=124（複数回答者あり）

参加者の所属

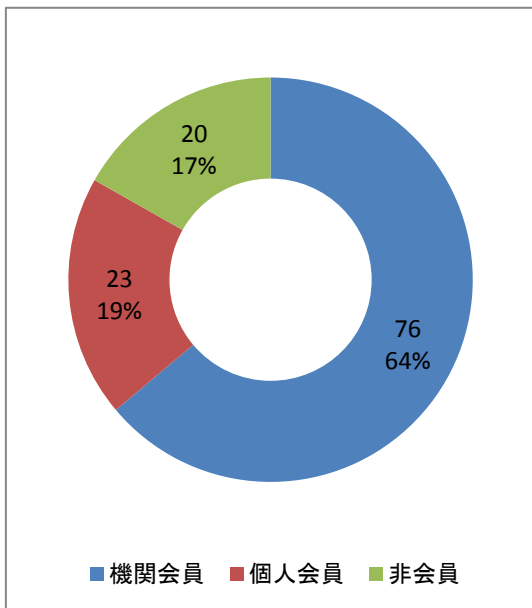


図 15 N=104

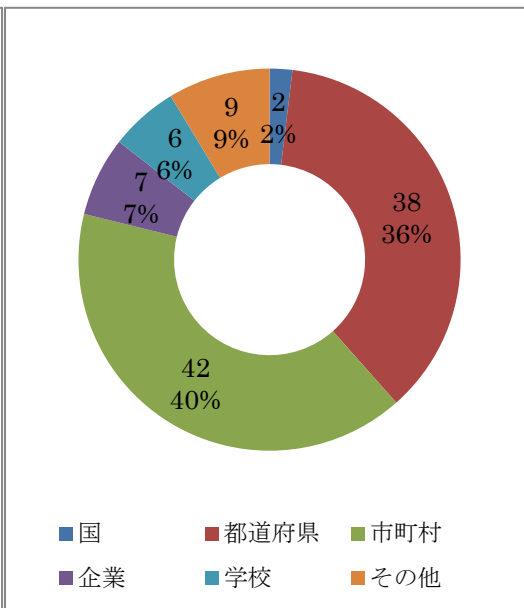


図 16 N=119

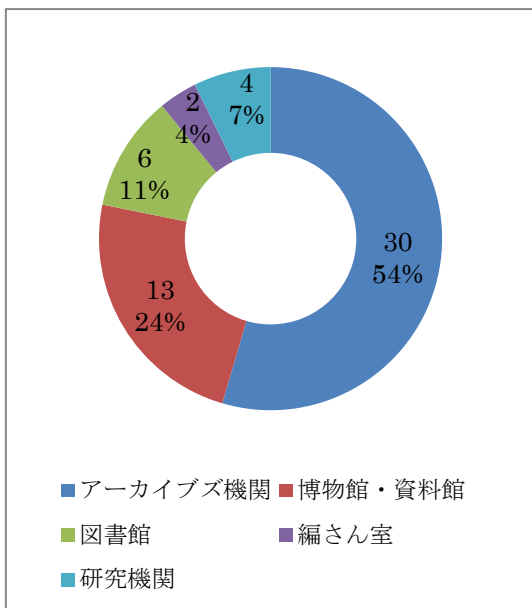


図 18 N=55

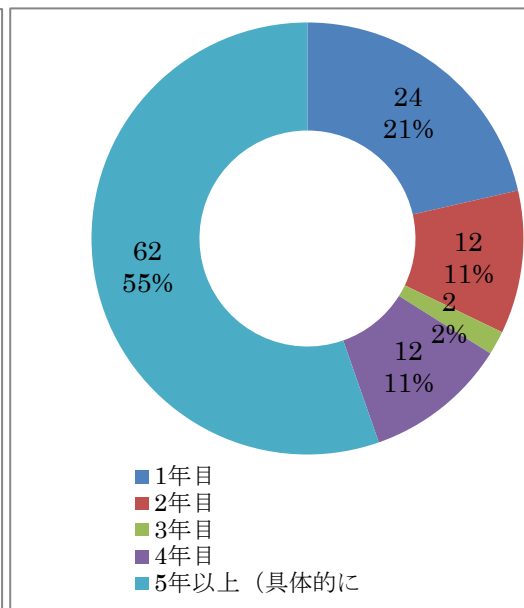
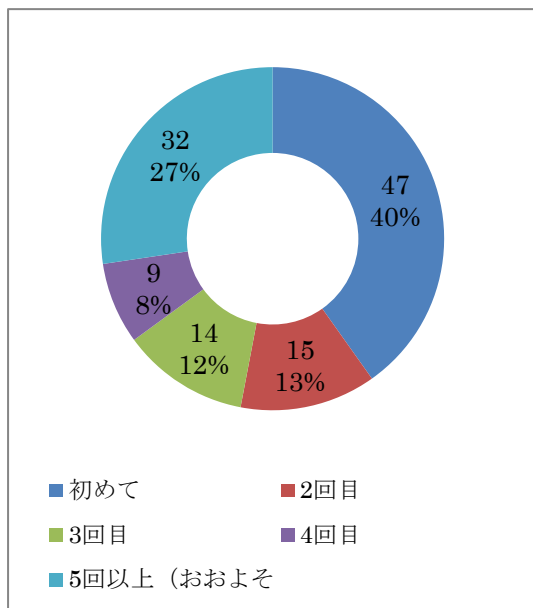


図 17 N=112

5 (7名) / 6 (6名) / 8 / 9 (2名) / 10 (3名) / 11 / 12 (2名) / 14 (2名) / 15 (3名) / 16 (2名) / 17 / 18 (4名) / 20 (5名) / 22 / 23 (2名) / 24 / 26 / 29 / 30 (3名)



参加経験



5 (2名) / 6/7 (2名) / 8/10 (5名) / 12 / 13/15 (2名) / 20/25/26/43 (2名)

図 19 N=117

大会当日に提出のあった 119 通 (参加者 246 名、回収率 48%) について、大会・研修委員会事務局が入力したもの。記入欄の誤りについては適宜修正した。